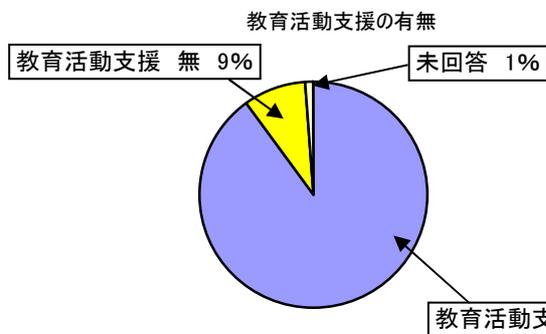


平成20年度「総合的な学習の時間」コーディネーター養成講座における 学校支援メニューフェアに関するアンケート集計結果

■期日：平成21年1月22日（木） ■会場：ピアザ淡海

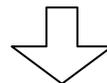
■対象：小・中・高等学校・特別支援学校等教員（128名より回答）

1 学校における地域や専門的な知識・技術をもった方々の教育活動支援の有無



(n = 128)

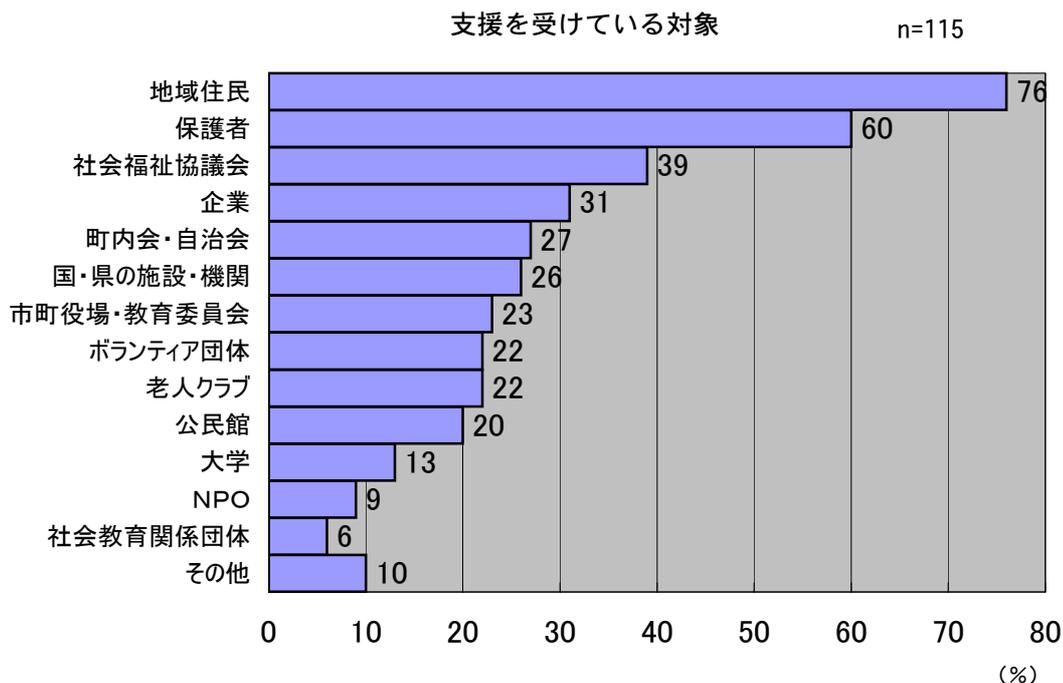
115名（90%の学校）がこれまでに何らかの支援を受けたことがあると回答。



うち地域住民、保護者・PTA、社会福祉協議会などからの支援が多い。企業からの支援受け入れは31%、昨年の同アンケート結果より増加。

(下記グラフ参照)

2 どのような方々から支援を受けているか。（複数回答）



3 支援を受けた場合、どのような効果があるか。（複数回答）

回答の多かった順に…

(n = 128)

- ①子どもたちの学習に対する意欲、関心度が高まる
- ②知識や理解、豊かな学びの広がりがある
- ③子どもと地域の人との結びつきが深まる
- ④学校と地域との連携が深まる
- ⑤学校での教育や活動が活性化する
- ⑥これからの授業の参考になる

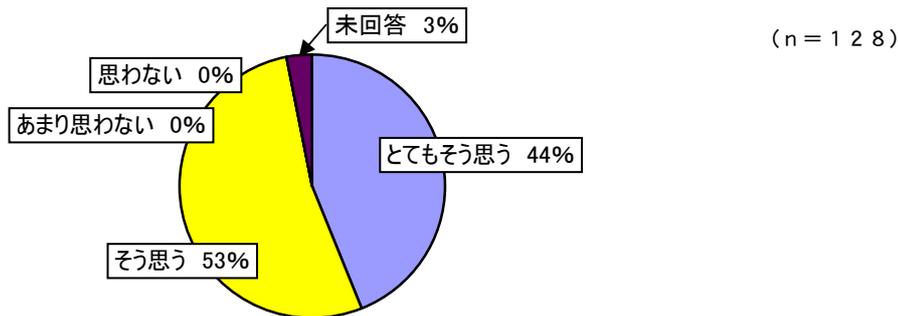
4 学校支援を受けるにあたっての課題や問題点は何か。(複数回答)

回答の多かった順に…

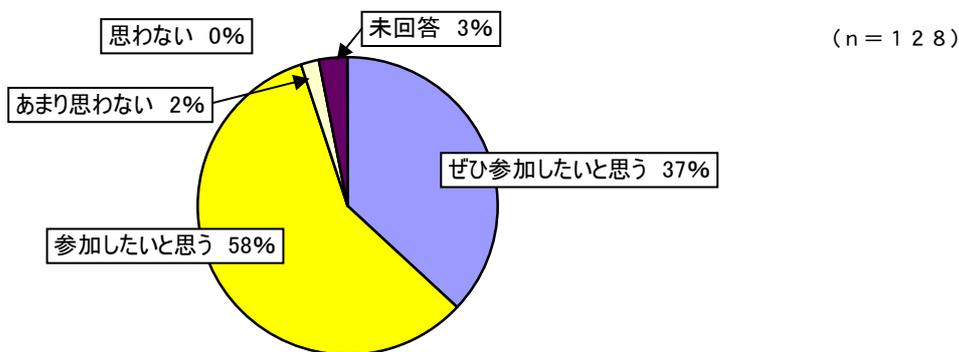
(n = 128)

- ①予算がない
- ②打ち合わせの時間がとれない
- ③どういう人がいるのか、わからない
- ④担当する教員の負担が増える
- ⑤他の教員の理解・協力がいい
- ⑥相談する人や機関がない

5 企業や団体等、学校外部からの支援や協力があると、教育活動がより充実すると思うか。



6 今回のような企業・団体等が学校支援メニューを紹介する機会があれば、参加したいと思うか。



7 県教育委員会生涯学習課に配置している学校支援ディレクターを知っていたか。

